

2026年3月6日

## 2025年度 地方の職を支える人材育成への取組実績報告（和歌山信愛大学）

和歌山信愛大学

和歌山信愛大学では、令和元年の開学より、地元産業界及び地元自治体と連携協定を結び、地方の職を支える人材育成への取組を下記の通り実施しています。

また、地元地域及びその他の地域からの学生の受入状況及び外部資金（経営資金を含む）の獲得実績についても報告いたします。

### — 記 —

1. 本報告時の連携・交流協定書締結先は次の通りです。（協定書有）

連携協定先 自治体：和歌山県・和歌山市・有田市・日高川町・北山村・新宮市・有田川町  
幼保関係コンソーシアム方式での連携協定を検討中：  
和歌山県・和歌山県社会福祉協議会・和歌山県保育連合会・  
和歌山県民間保育園連盟・和歌山県認定こども園協会  
民間企業：株式会社島精機製作所、公益財団法人島財団  
私立学校・園・施設：むつみこども園・新堀こども園及び  
和歌山信愛中学校高等学校  
海外大学：ベトナム国フーイエン大学、台湾国立屏東大学

2. 連携協定等に基づく実績報告

1) 県内自治体との連携協定等に基づき実績を報告する。

・「子どもフェスタ」を県内各地で主催実施している。連携自治体との協定に基づく実績報告詳細は、本学内組織「きょう育の和センター」が発行する報告書にて毎年報告している。

・以下の URL に随時活動を追加掲載している。（報告書を HP 公開している）

[https://www.wsu.ac.jp/research/kyoiku\\_no\\_wa/](https://www.wsu.ac.jp/research/kyoiku_no_wa/)

2) 民間企業等との連携協定等に基づき実績を報告する。

・2024年度まで株式会社島精機製作所と学内で学童企画を計画し、学童企画内で提供を受ける地域の小学生向けに「学生計画プログラムの企画・実施」にて連携を行っていましたが **2025年度は、事情により実施できませんでした。（復活活動も現時点未定）**

i. 連携している地元産業界等の組織名称

株式会社島精機製作所、むつみこども園、新堀こども園

ii. 当該連携事業における地域の課題

地域人材の継続的育成

その課題解決に向けて設定した目標

子育て支援を通じた教育の実践

iii. ii の課題の解決に向けて実施する取組の内容

株式会社島精機製作所（2025 年度活動実績なし）

新堀こども園・むつみこども園（連携協定締結済園）と学生の保育アルバイトの募集を実施し、運用している。（募集チラシあり）

3) 私立学校・園・施設との連携協定等に基づき実績を報告する。

・本学授業科目「乳児保育Ⅰ（3 年前期）」「乳児保育Ⅱ（3 年後期）」において、むつみこども園園長（栗林恵先生）に、本学との連携協定に基づき授業内で実践的 PBL を含めた内容において授業を行っている。また、新堀こども園園長（大林弘嗣先生）にも随時参加いただき問題解決型授業の実施を行っている。

i. 連携している地元産業界等の組織名称

むつみこども園（和歌山市）、新堀こども園（和歌山市）

ii. 当該授業等を実施する学部・学科

教育学部・子ども教育学科

iii. 当該授業等を開講する目的

乳児保育現場の現状と発生する課題を知り、現場での取組みを理解し、就業への意識を高める為

iv. 当該授業等の具体的な内容

「乳児保育Ⅰ（3 年前期）」

乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割、保育所・乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題、3 歳未満児の発達を踏まえた保育内容と運営体制について、学ぶと共に、乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や関係機関との連携について理解する

「乳児保育Ⅱ（3 年後期）」

3 歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3 歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境、配慮の実際について学ぶと共に、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。

シラバス抜粋（P134,135）を別添 2 に公開している

[https://www.wsu.ac.jp/cms/wp\\_shinai/wp-content/uploads/jinzaiikusei2025syllabus.pdf](https://www.wsu.ac.jp/cms/wp_shinai/wp-content/uploads/jinzaiikusei2025syllabus.pdf)

和歌山信愛大学シラバス (P134、135)

[https://www.wsu.ac.jp/cms/wp\\_shinai/wp-content/uploads/ws\\_u\\_syllabus\\_edu\\_2025.pdf](https://www.wsu.ac.jp/cms/wp_shinai/wp-content/uploads/ws_u_syllabus_edu_2025.pdf)

・和歌山信愛中学校高等学校と連携協定を結び、和歌山信愛中学校高等学校生徒を対象に就業（仕事）に関する出前授業を実施している。また、希望者には学内への招待も行き、説明会等を行っている。

<https://www.wsu.ac.jp/report/event20251011/>

4) 海外大学との交流協定等に基づき実績を報告する。

・海外大学：ベトナム国フーイエン大学と交流協定を締結している。

・2026年3月8日～3月13日(金)、本学と大学間交流協定を結ぶベトナムのフーイエン大学に、本学学生7名と教職員1名の計8名を派遣し、交流研修会を実施予定。

3. 地元地域及びその他の地域からの学生の受入状況の公表について

・在籍学生（入学時入学者数）の受入人数を、都道府県別に本学 HP に公表しています。

[https://www.wsu.ac.jp/cms/wp\\_shinai/wp-content/uploads/kyoikujoken\\_edu\\_2025.pdf](https://www.wsu.ac.jp/cms/wp_shinai/wp-content/uploads/kyoikujoken_edu_2025.pdf)

4. 外部資金（経営資金を含む）の獲得実績の公表について

・令和6年度における外部資金の獲得実績について、公表を必要とする外部資金に基づき公表します。

i. 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金等

- 1) 科学研究費助成事業 アウトリーチ支援 390 千円 研究代表者(R6～R8 の2年目)  
科学研究費助成事業 教員養成プログラム 1,300 千円 研究代表者  
(R7～R9 の1年目)

※科学研究費助成事業 研究代表者として採択仕掛中件数上記2件  
及び研究分担者として4件(544千円)

ii. 受託事業や共同研究に伴う研究経費等

- 1) 住総研 少子高齢化時代の被災集落の住まいとまちの再建事例分析 1,468 千円  
研究代表者 (R7)

iii. 民間企業等や同窓会等、個人より得た寄付金等  
該当なし

以上